INVENTORY MANAGEMENT

Stash

使 用 マ ニ ュ ア ル

基本操作・在庫の確認・保存と復旧

Version 2.5

SlideUp
現場を、滑らかに。

起動：運用ファイルを選ぶ

最初に使うデータを選択します。配置と共有先の準備は設定マニュアルを参照してください。



1　続きから開く

「ファイルを開く」で
既存のSTASH.jsonを選択。
次回は前回の接続先から。

2　初回は新規作成

最初の1台で「新規作成」。
保存先と名前を決めます。
2台目は同じJSONを開きます。

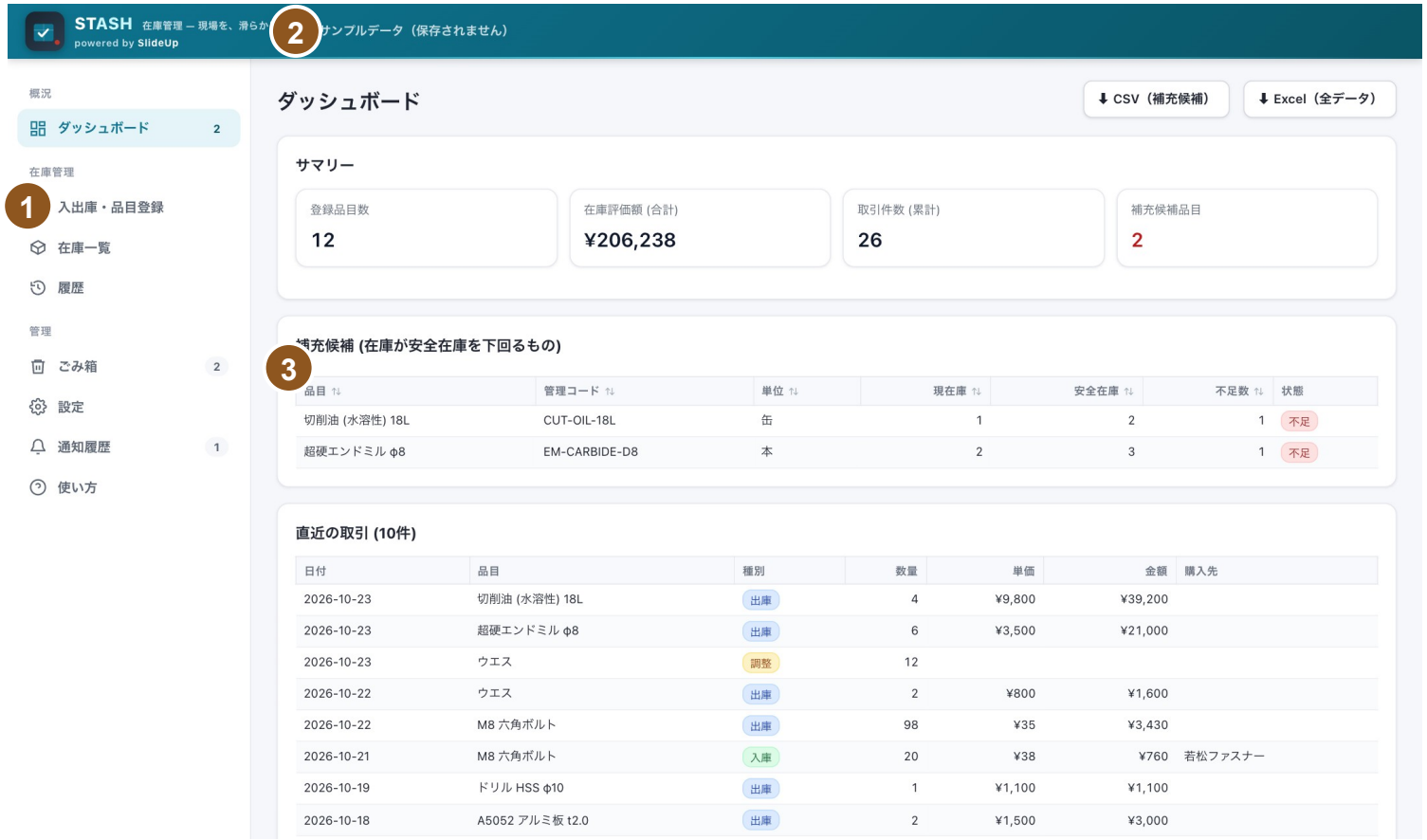
3　まず試すとき

「サンプルを試す」で体験。
変更は保存されません。
再読込すると入口へ戻ります。

画面は初回の入口です。「前回のファイルに接続」は、前回の接続履歴がある場合に表示されます。

画面の見方と、日々の流れ

品目を用意し、入出庫を記録。在庫一覧とダッシュボードで結果を確認します。



1　左メニューで切替

入出庫・品目登録、在庫一覧、
履歴を使い分けます。
設定・通知履歴もここです。

2　保存状態を確認

上部に接続先と状態を表示。
運用中は自動保存します。
この画面はサンプルです。

3　補充の必要を確認

補充候補は安全在庫未満。
不足数を確認して、購入・
補充の判断に使います。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

準備：品目マスタを開く

「入出庫・品目登録」の下段で、扱う品目を準備します。



1　新しい品目を作る

「＋ 新規品目」で入力画面へ。
品目を登録してから、
入出庫で選択します。

2　一覧から探す

品目名・管理コード・
標準購入先で検索できます。
「編集」で内容を直せます。

3　まとめて登録する

「CSVを読み込む」で追加。
ひな形は「設定」の
「品目マスタCSV」にあります。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

品目を登録：単位と安全在庫を決める

品目名と単位は必須です。登録直後の在庫は0なので、初期在庫は別に記録します。



1　名前と管理コード

品目名を入力します。
管理コードは品目の識別や検索に使えます。

2　単位と安全在庫

個・本・箱など単位を設定。
安全在庫は不足判定の基準で、初期在庫の数ではありません。

3　購入先を登録

標準購入先などを入力し「登録」。入出庫の品目候補から選べるようになります。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

入庫：購入した数量と単価を記録

「入出庫・品目登録」の上段を使います。初期在庫も入庫で登録できます。



1 種別と品目を選ぶ

種別は「入庫 (購入)」。
品目欄で検索し、候補を
クリックして確定します。

2 数量と購入単価

入った数量と購入時の単価を
入力します。購入先・日付・
備考も確認します。

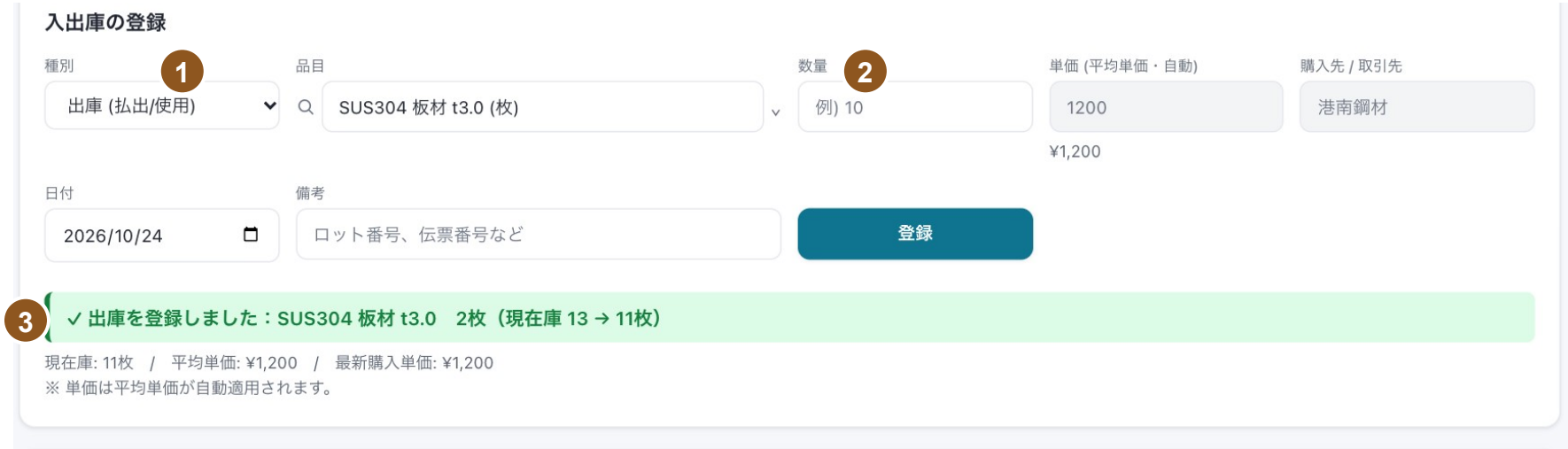
3 確認して登録

「登録」で確認画面へ。
内容が合っていれば
「この内容で登録」を押します。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

出庫：使った数量を記録

出庫単価は平均単価から自動で適用されます。



1　種別を出庫にする

「出庫 (払出/使用)」を選び、
使用した品目を候補から
選択します。

2　使用した数量を入力

出庫する数・日付・備考を入力。
単価と購入先は入力できず、
平均単価を使います。

3　登録の結果を確かめる

「この内容で登録」の後、
登録ボタンの下に結果と
現在庫の増減が1行で残ります。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

棚卸後：在庫調整で数量を合わせる

調整するのは増減の差ではなく、指定日の調整後の在庫数量です。



1 在庫調整を選ぶ

種別を「在庫調整」にし、
棚卸した品目を選択。
棚卸の日付を指定します。

2 実数を入力する

数量には調整後の数を入力。
通常は直前の平均単価を維持。
備考に調整の理由を残します。

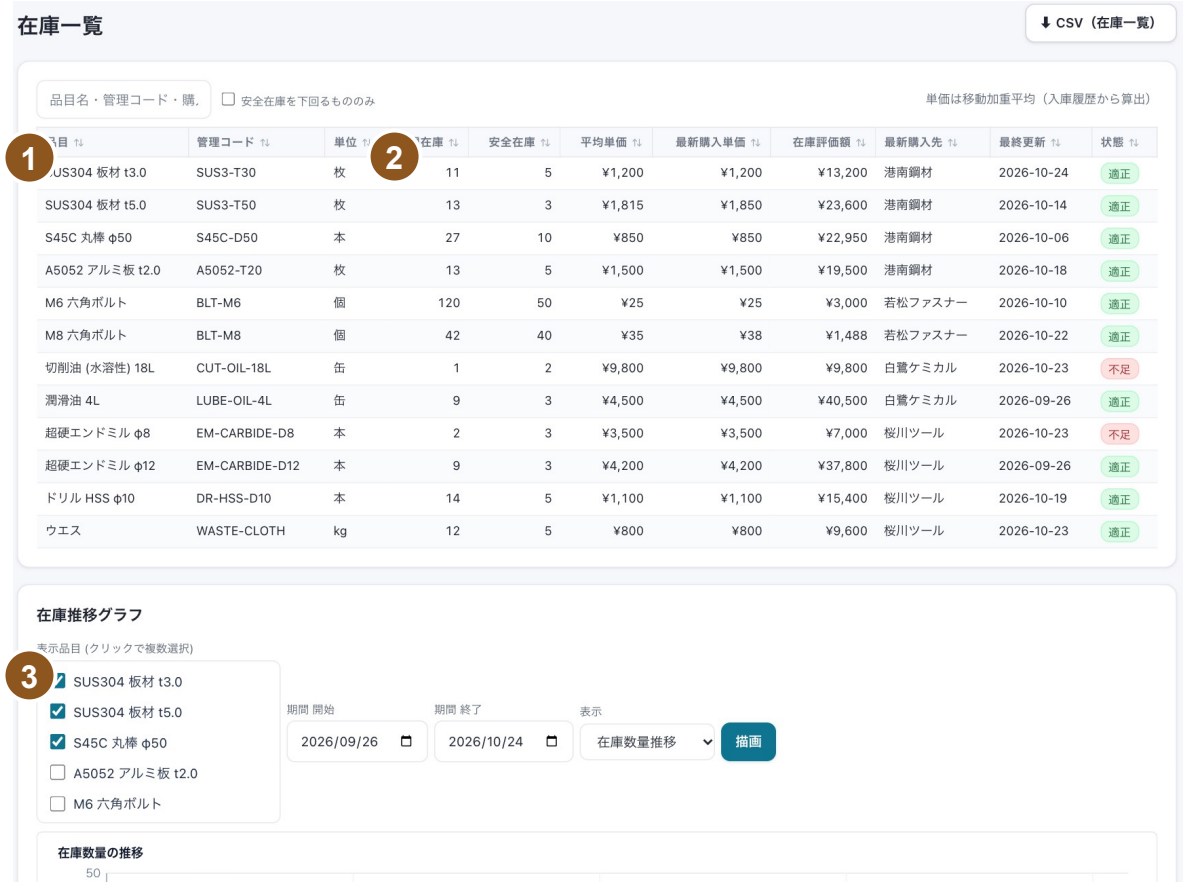
3 評価単価と確認

直前平均が0円で正数へ
調整するときは評価単価が必須。
確認画面を読んで登録します。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

在庫一覧：現在庫と不足を確認

登録後は在庫一覧で、数量・平均単価・在庫評価額が意図どおりかを確認します。



1　品目を探す

検索欄で絞り込めます。
列見出しで並べ替え、
「登録順」で戻せます。

2　不足だけを見る

「安全在庫を下回るもののみ」
で対象を絞れます。現在庫と
安全在庫を比較します。

3　推移も確認する

下段の在庫推移グラフで、
品目・期間・表示を選び「描画」。
数量・評価額・入出庫量を確認。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

履歴：記録を探し、内容を確認

在庫の増減を調べるときは、期間・品目・種別などで対象の記録を探します。



1　条件で絞り込む

期間・品目・種別・購入先で
絞り込めます。必要な範囲を
表示して内容を確認します。

2　入力を訂正する

履歴の直接編集はできません。
元の内容を控えて対象を削除し、
正しい内容で登録し直します。

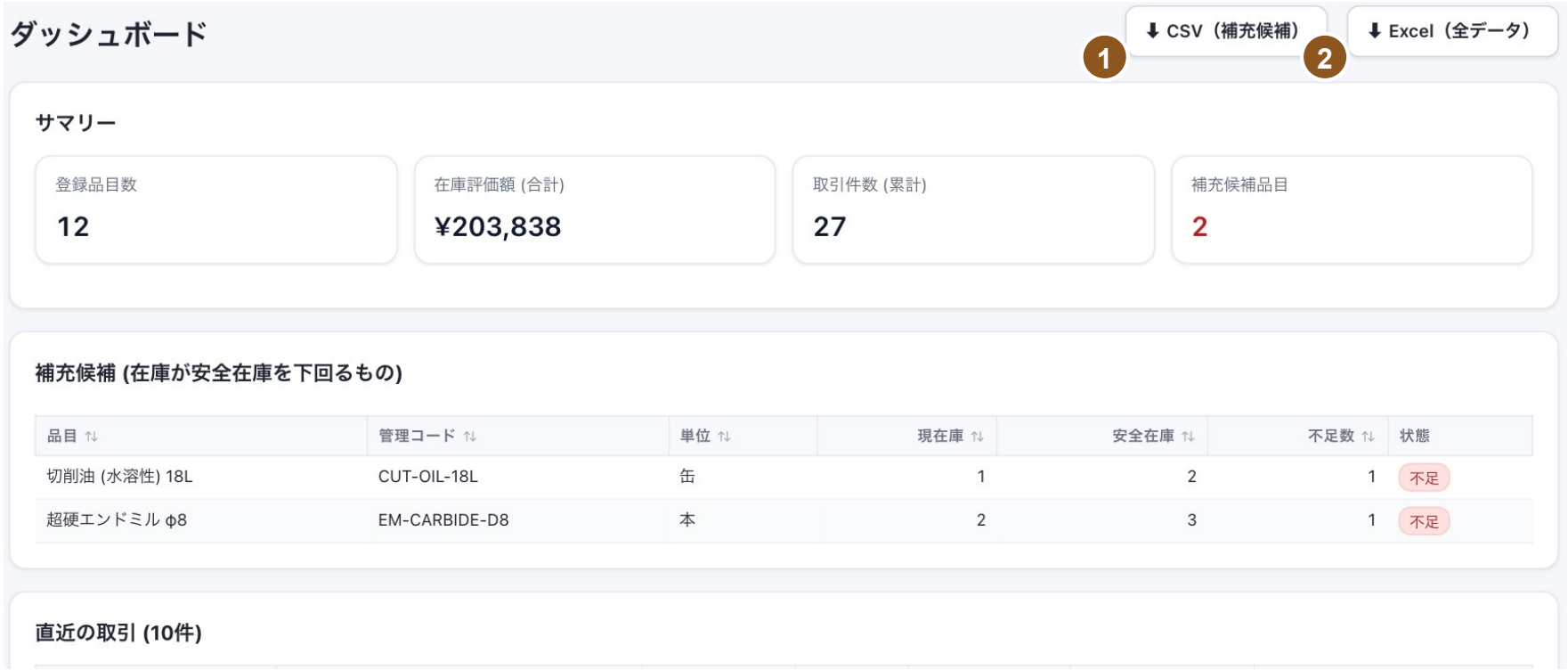
3　記録を保管する

「CSV（履歴）」は現在の
絞り込み結果を書き出します。
復旧用にはJSONを残します。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

確認結果を出力し、補充に使う

Excel・CSVは報告や確認用です。日々の記録を戻すための控えにはJSONを使います。



1　補充候補を渡す

「CSV（補充候補）」で保存。
現在庫・安全在庫・不足数を
購入・補充の判断に使います。

2　全体をExcelで確認

「Excel（全データ）」で出力。
サマリー・在庫一覧・履歴・
品目マスタの4シートです。

3　JSONも保管する

運用中は「設定→データ管理」
からJSONバックアップを保存。
別の場所へ世代を残します。

画面はv2.5のサンプルです。サンプルでの変更は保存されません。実運用では選択したJSONファイルへ保存します。

共有・バックアップ・ごみ箱

SHARING & BACKUP

HTMLとJSON

ZIPを展開し、HTMLをEdge/Chromeで開きます。
業務データは選択したSTASH.jsonへ保存します。

初回・2台目・サンプル

入口の「新規作成」でSTASH.jsonを作ります。2台目以降は
「ファイルを開く」で同じJSONへ。サンプルの変更は閉じると戻ります。

共有先と日時

1台ならPC内、複数台なら社内共有/NASや同期フォルダを使用。
OneDriveの同期手順は設定マニュアルへ。PCの日時は自動設定に。

同時編集の注意

同じ品目・履歴の編集担当を分けます。完全な排他制御ではありません。
保存後は約10秒、両PCで相手の更新を確認して閉じます。

全体のバックアップ

「設定→データ管理→JSONを書き出す（バックアップ）」。
運用先とは別の場所へ、日付を付けて世代を残します。

ごみ箱・通常の復旧

「ごみ箱」の「復元」で戻せます。「完全に削除」は戻せません。
通常の復旧は再読込後に控えJSONを開き、全PCの保存先を揃えます。

保存復旧・CSV・体験版・更新

RECOVERY & UPDATES

保存できないとき

閉じずに接続・書込権限を確認し「今すぐ再試行」。
削除等は取り消される場合もあります。通知履歴は再読込で消えます。

復旧先へ内容を置換

「JSON（バックアップ）」で未保存分を保全してから
「ファイルを開く」。選択先へ置換し、未保存分を自動合流しません。

品目CSVを読み込む

設定→品目マスタCSVのひな形を使い、品目マスタの
「CSVを読み込む」で追加/上書き。必須は品目名と単位です。

CSVの確認と上限

空欄・欠列は今の値を保ち、単位違いは更新せず。1件不正で全件中止。
10,000件/5MB、UTF-8/Shift_JIS。先頭の0にも注意します。

30日間体験版

初めて開いた日から30日・件数制限なし。
期限後は入力・変更・保存が止まります。JSONは製品版で継続できます。

全PCをv2.5へ更新

事前コピーを保管し、共有全PCを閉じて同時に更新・開き直します。
PDF出力はありません。CSV/Excelは復旧用JSONと区別して保管します。

品目・単価・履歴のヒント

DAILY OPERATIONS

品目の編集と並び

品目マスタの「編集」→「保存」。列見出しで並べ替え、
「登録順」で戻します。品目の手動ドラッグはありません。

安全在庫と不足数

現在庫が安全在庫未満なら補充候補。不足＝安全在庫−現在庫。
「CSV（補充候補）」で候補を保存できます。

単価と在庫評価

入庫で移動加重平均を計算。出庫金額は登録時の平均単価で固定。
過去の入庫を追加しても、既存の出庫金額は変わりません。

在庫調整の単価

調整直前の平均単価を維持。平均0円から正数へ調整時は評価単価が必要。
過去の調整後に取引があれば、現在庫は調整数量と異なります。

履歴を探して訂正

期間・品目候補・種別・購入先で絞ります。直接編集はできません。
内容を控え、対象行を「削除」し正しい内容で登録し直します。

品目の削除制約

取引履歴が残る品目は削除できません。必要な記録を残します。
復元・完全削除は「共有・バックアップ・ごみ箱」を参照してください。

機能リファレンス

FUNCTION REFERENCE

INPUT

入力機能

1. 品目マスタ登録（下段パネル）
2. 入庫・出庫・調整 (3 種別)
3. 品目マスタCSV読込

MONITOR

在庫の確認

1. 補充候補と不足数
2. 現在庫・平均単価・評価額
3. 在庫推移グラフ（3表示）

OUTPUT

出力機能

1. Excel（全データ・4シート）
2. CSV（品目・在庫・履歴等）
3. 全体JSONバックアップ